

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

*この取扱説明書（本書）はいつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ず取扱説明書（本書）も併せてお渡しください。

 V58/V56 MAXIA モノキートップケース	適応商品
	モノキーベース専用

■ ご使用前に必ずご確認ください ■

※本商品のご使用前に最終項に記載の URL（保証規定）より保証規定の内容を読み、ご理解のうえご使用ください。




※本商品の使用をもって、本書と保証規定の内容の全てを理解・承諾したものとみなします。本書内の注意事項を守らず使用したことによる事故や損害について、当社では一切の責任を負いません。

※本書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。また第三者に譲渡する場合は、必ず本書も併せてお渡しください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

 <small>禁止</small>	禁止の行為であることを告げるものです。	 <small>実施</small>	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 <small>その他</small>	その他の警告及び注意を告げるものです。
-----------------------	---------------------	-----------------------	-------------------------	------------------------	---------------------

 <small>警告</small>	要件を満たさず使用しますと、死亡または重傷に至る可能性や第三者の生命や財産を損なう可能性が想定される場合を示してあります。
 <small>禁止</small>	<ul style="list-style-type: none"> この商品はカギを外した状態でロックすることができます。カギをケースの中に入れてそのまま上フタを閉めると（インロック）、内容物を取り出せなくなります。カギをケース内に入れないでください。念のためスペアキーをメインキーに付けておくなど対策をお勧めします。 この商品は指定懸架ステーに所定の状態で取り付けられた GIVI モノキーベース（別売り）専用品です。GIVI モノロックケース付属の汎用ベース、M5M、M6M、MM などの GIVI モノロックベースには取り付けできません。また、GIVI 社指定以外のベースプレート、懸架ステーには使用しないでください。 指定最大積載重量（ケースに収容可能な内容物の MAX 総重量）は 10kg です。ケースやフィッティングの指定を超える総重量となる内容物をケースに収納することは絶対にお止めください。当社では、操舵性を考慮して総重量 3kg 以下での走行使用をオススメします。 この商品をつかんでのメインスタンド掛けや車体の取り回しはお止めください。変形や破損など予期せぬ不具合の原因となります。 法定速度を必ず遵守することを前提に、100km/h を超える状態での走行使用は行なわないでください。操舵性の変化などにより、破損や脱落など予期せぬ不具合や事故損害の原因となる場合があります。 オフロードなど悪路での走行使用は行なわないでください。破損や脱落など予期せぬ不具合や事故損害の原因となります。

 注意	<p>要件を満たさず使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。</p>
 実施	<ul style="list-style-type: none"> パッケージ開梱時やその後の商品取り扱い時に、パッケージや商品端面で指を切るなど予期せぬ怪我や事故、内容物の破損などが発生する場合があります。十分ご注意ください。 この商品をパッケージから取り出した際に、商品構成や外観に不備がないことを必ずご確認ください。未使用品以外の外観不良は保証対象外につき、万一お気付きの点がございましたら、ご使用になる前のこの段階でお買い求めの販売店に速やかにご相談ください。 この商品ならびに指定同時装着品の構成部品は金属や樹脂を素材としております。経年変化や使用損耗により素材劣化が生じ、予期せぬ不具合が発生する場合があります。必ず定期的に点検整備を行なってください。 この商品はストップランプ標準装備のケースではないため、ボトムシェル（底部）に接点が付いておりません。そのため、標準状態のトップケースを組み付ける GIVI モノキーベース（別売り）に接点が組み付けられている場合は、必ずベースから接点を取り除いてからご使用ください。ボトムシェルに接点がないケースを接点付きのベースに取り付けると、ケースとベースプレート後側のアタッチメントの所定の勘合が得られず、部品破損や脱落など予期せぬ不具合や事故損害の原因となります。 ケース脱着作業は安定した平らな場所で、作業中の車体の安定と周囲の安全を十分確保したうえで確実に行なってください。作業が適切に行なわれないと、作業中やご使用中に部品破損や脱落など予期せぬ不具合が発生する場合があります。 ケースの蓋を開ける際は、所定の制御範囲を超えてヒンジ部に無理な力が掛かるまで最大開口させないでください。変形や破損など予期せぬ不具合の原因となります。 ケースの蓋を閉める際やロックして走行使用の際は、荷物が蓋に挟まれていないことを必ず確認してください。変形や破損など予期せぬ不具合の原因となります。 ケース開閉・脱着が困難な場合は、そのまま無理に操作せず、各部品に不具合がないこと、手順に間違いがないことを一から見直してください。ベースロック解除ボタンやベースプレート勘合部などに不用意に無理な力が加わると、変形や破損など予期せぬ不具合が発生する原因となります。 この商品を車体に取り付け走行使用すると、車両の重量増加や重心変化、空気抵抗増加などにより、ハンドリングやブレーキ性能などが変化します。操舵感覚や制動感覚に慣れるまでは十分慣らし運転を行なってください。 防犯上の理由から、GIVI 社ではキーのみの複製・販売は行なっておりません。また、ケース標準組み付け済みのキーシリンダー、スリーブ（金属筒）は付属キーのみにしか使用できません。付属キーを万が一紛失・破損した場合は、カギ専門店などでケースロックを開錠いただき、補修用キーセット（別売り）に速やかに交換してください。この時、古いキーセットのスリーブ（金属筒）に新しいキーシリンダーは使用できませんので、スリーブ（金属筒）を含むキーセットの部品全てを新品交換してください。 走行中に異常が発生した場合は直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。
 その他	<ul style="list-style-type: none"> この商品は指定懸架ステーに所定の状態で取り付けられた GIVI モノキーベース（別売り）専用品です。指定された GIVI 社の適応商品以外との組み合わせは未確認となります。 素材と製造方法、製品個体差により、仕上がり品質はお手元の商品程度となります。素材や製品、上蓋パネルなどの表面の傷や歪み、凹凸や仕上げのムラ、各部組み付けや勘合具合、ベースプレートへの組み付けフィット感など、程度の差につきましては予めご了承ください。 ご使用環境やご使用状況によってはケース内部が高温になる場合があります。 この商品は防滴性を考慮した設計ですが、完全防水ではありません。ケース内容物の防水・破損対策はお客様の自己責任で行なっていただく必要があります。 ケース自体は施錠できますが、盗難を完全に防止することはできません。車両を離れる際はケース内に貴重品を入れたままにしない、ケースを取り外して持ち歩くなどの自己防衛が必要です。 この商品は予告無しに価格や仕様を変更する場合があります。また、文中にて紹介した他の商品についても同様です。予めご了承ください。 走行中の振動音が気になる場合ベースプレートのラバーストッパーが摩耗している場合があります。ラバーストッパーは消耗品ですので定期的に交換をお勧めします。

商品ラインアップ

パーツ名	品番	容量	重量	幅×高さ×奥行
V58NN 無塗装黒 (樹脂製カーボン調パネル/赤リフレクター)	43247	58L	5.4kg	W598 D494x H321mm
V56N 無塗装黒 (アルミパネル/赤リフレクター)	92360	56L	5.7kg	W600x D480x H330mm
V56NT TECH 無塗装黒 (アルミパネル/スモークリフレクター)	92361			
V56NN 無塗装黒 (樹脂製カーボン調パネル/赤リフレクター)	92356			
V56NNT TECH 無塗装黒 (樹脂製カーボン調パネル/スモーク リフレクター)	92358			

※. 商品の詳細や最新情報は GIVI 専用ホームページ <http://www.givi-jp.com> にてご確認ください。

商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	トップケース本体	別記	1	④	取扱説明書(本書)		1
②	セキュリティーキー		2	⑤	ネット(V58のみ)		1
③	ボトムインナーマット		1				

ご使用前に(ベース接点の確認、取り外し) ※ランプキット未装着の場合

- この商品はストップランプ標準装備のケースではないため、ボトムシェル(底部)に接点が付いておりません。そのため、標準状態のトップケースを組み付ける GIVI モノキーベース(別売り)に接点を組み付けられている場合は、必ずベースから接点を取り除いてご使用ください。

※. ボトムシェル(底部)に接点がないケースを接点付きのベースに取り付けると、ケースとベースプレート後側のアタッチメントとの所定の勘合が得られず、破損や部品脱落など予期せぬ不具合や事故損害などの原因となります。

※. 尚、後付けランプキット(別売り)をこのケースに取り付け、ボトムシェル(底部)に接点を付けている場合は、この作業は必要ありません。

ケースの蓋を開ける ※ケースの蓋を閉める際は逆の手順で行なってください。

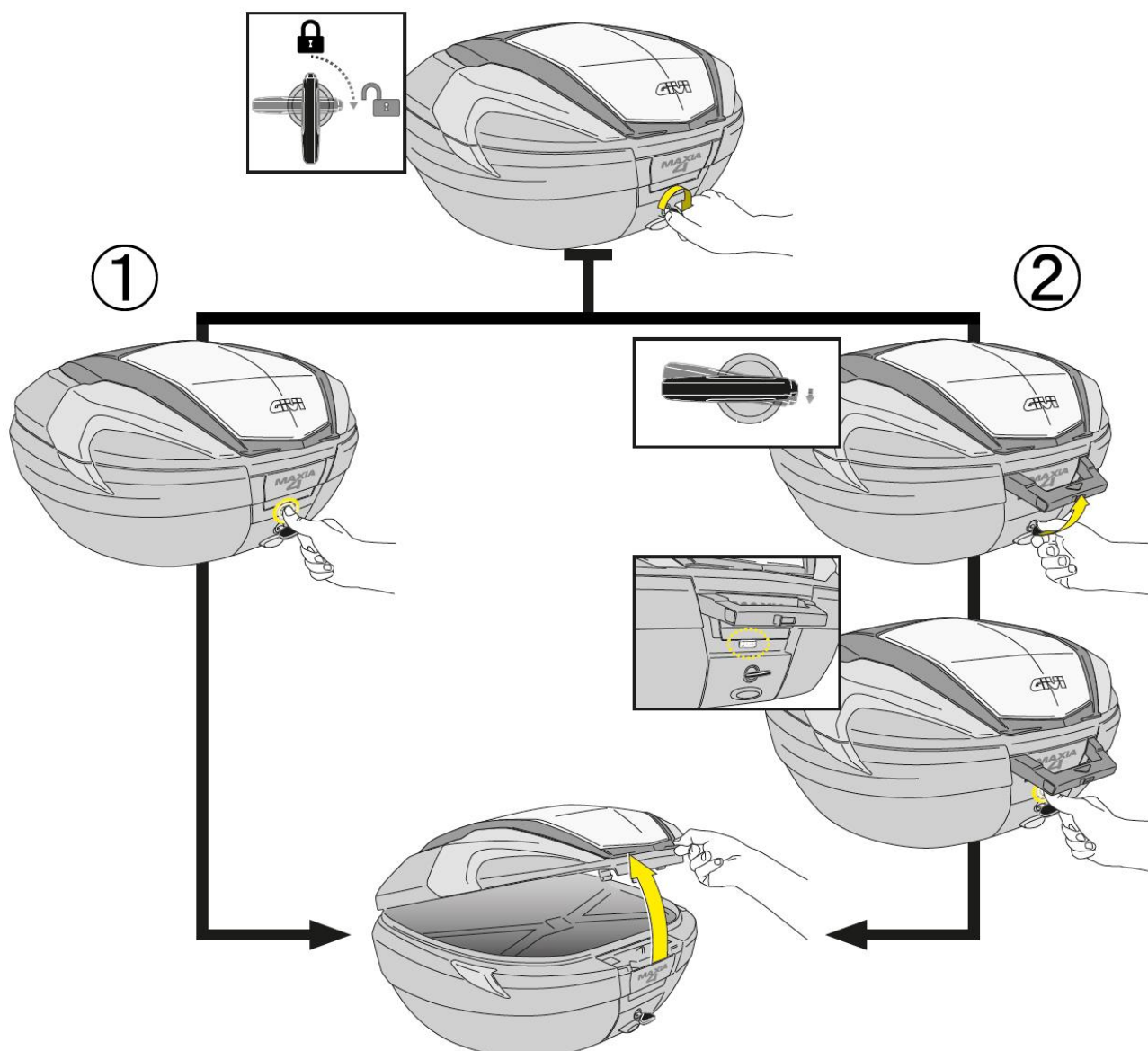


図 A1 (イラストは V56 ですが、他モデルも取り扱いは同じです。)

1. ①キーシリンダーに②セキュリティーキーを奥までしっかりと挿し込み、②キーを右（3 時方向）に回してケースのロックを解除します。（図 A1 参照）
2. ②キーの回し位置がちょうど 3 時の場合は、ハンドルはケースに収納されたままです。この状態でハンドルの「PRESS」マーク部を内側に押し込むと、蓋のロックが解除され、蓋が上に少し持ち上がります。蓋の先端に設けられたノブ（2 箇所）を指でつまみ、ゆっくりと蓋を開けてください。（図 A1 フロー①参照）
3. ②キーを 3 時位置よりも回し進めた場合は、ハンドルがケースから引き出されます。この状態でハンドル下にあるオープンボタンを直接内部に押し込むと、手順 2 同様蓋のロックが解除され、蓋が上に少し持ち上がります。蓋の先端に設けられたノブ（2 箇所）を指でつまみ、ゆっくりと蓋を開けてください。（図 A1 のフロー②参照）

※. ケースの蓋を開ける際に、所定の制御範囲を超えてヒンジ部に無理な力が掛かるまで最大開口させないでください。変形や破損など予期せぬ不具合の原因となります。

※. 上記とは逆の手順でケースの蓋を閉める際は、ケース内へのキーの閉じ込み（インロック）がないこと、荷物が蓋に挟まれていないこと、ハンドルがケースに収納されていること、蓋が確実にロックされていることを毎回必ず確認してください。変形や破損など予期せぬ不具合の原因となります。

ケースをベースプレートに取り付け、走行使用する

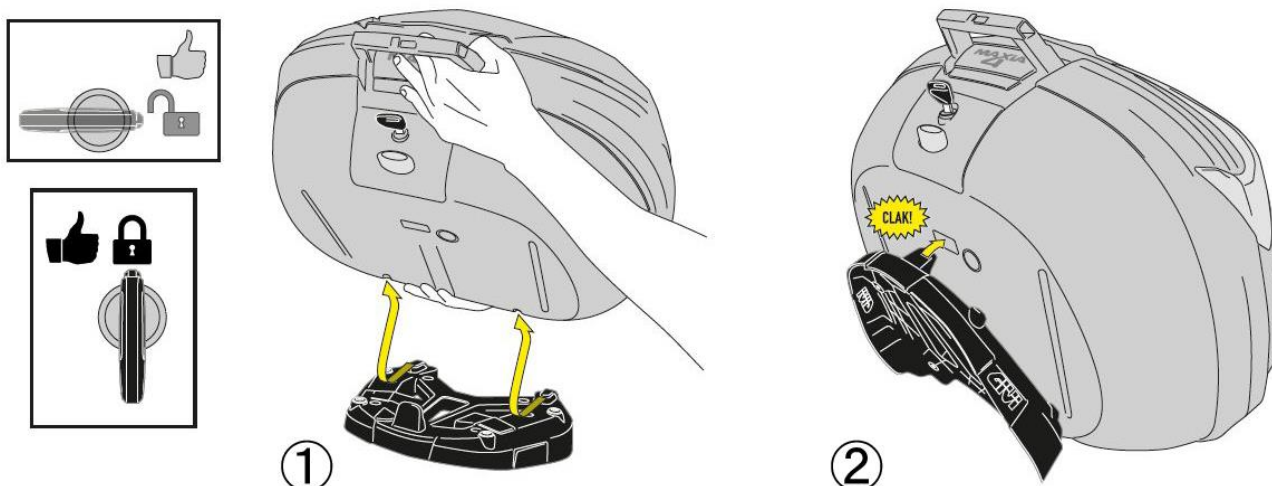


図 B1 (イラストは V56 ですが、他モデルも取り扱いと同じです。)

1. ①蓋を閉めた状態で、キーシリンダーに②セキュリティーキーを奥までしっかりと挿し込み、②キーを右に回し (3 時位置よりも回し進めて)、ケースからハンドルを引き出します。(図 B1 ①参照)
 2. 引き出したハンドルを適宜活用して①ケースを両手でしっかりと支え持ち、脱落させないように十分注意しながら、ベースプレート前側の凸部 (2 箇所) に①ケース底面の前側凹部 (2 箇所) をしっかりと吻合させます。(図 B1 ①参照)
- ※ この時、①ケースのキーポジションはロック/ロック解除、何れでの位置でも問題はありません。便宜上、以降の手順ではキーポジションがロック解除 (3 時方向) の位置である前提で説明します。
- ※ ベースプレート前側の凸部と①ケース前側の凹部は、左右 2 箇所とも均等に確実に吻合させてください。左右で歪んで組み付けられた場合や左右何れかの吻合が浅い場合は、以降の作業に支障をきたすだけでなく、変形や破損、ケース脱落など予期せぬ不具合が発生する場合があります。
3. 引き続き①ケースをしっかりと支え持ち、手順 2 で行なった前側の吻合が左右で歪んだり外れたりしないよう十分注意しながら、ベースプレート後側のアタッチメントに①ケース底面の後側吻合部を押し当て、ベースプレートに①ケースを確実に取り付けます。(図 B1 ②参照)
- ※ この時、①ケースの上蓋パネル部を直接過度に押さないでください。上蓋パネル部の変形や破損など予期せぬ不具合の原因となります。アルミパネル仕様の V56N/NT は特に注意が必要です。
- ※ ベースプレートへの取り付けが困難な場合は、①ケースのキーシリンダー下部にあるベースロック解除ボタンを操作して①ケース底面を一旦ベースプレート後側のアタッチメントから外し、①ケースの蓋を開け、ケース底面 (内側) とベースプレート底面とを両手で挟み込むようにして、慎重に作業し直してください。ベースロック解除ボタンやベースプレート吻合部に不用意に無理な力を加えると、変形や破損など予期せぬ不具合が発生する場合があります。
4. ベースプレートへの取り付け時に蓋を開けた場合は再度蓋を閉め、ハンドルを①ケースに収納し、②キーを左 (12 時方向) に回し、①ケースをロックします。
- ※ ケースの蓋を閉める際は、ケース内へのキーの閉じ込み (インロック) がないこと、荷物が蓋に挟まれていないこと、ハンドルがケースに収納されていること、蓋が確実にロックされていることを毎回必ず確認してください。変形や破損など予期せぬ不具合の原因となります。
5. 車体を倒さないよう十分注意しながら、①ケースを両手で揺り動かし、ベースプレートへの取り付けに異常がないこと、蓋の先端に設けられたノブ (2 箇所) を指でつまんで蓋を上方向に押し上げ、蓋が確実にロックされていることを必ず十分確認してください。
- ※ この作業を怠ると、走行使用中のケース脱落や蓋開きなど予期せぬ不具合が発生する場合があります。
6. 問題なければ①ケースから②キーを確実に抜き取り、安全に走行使用してください。

ケースをベースプレートから取り外す

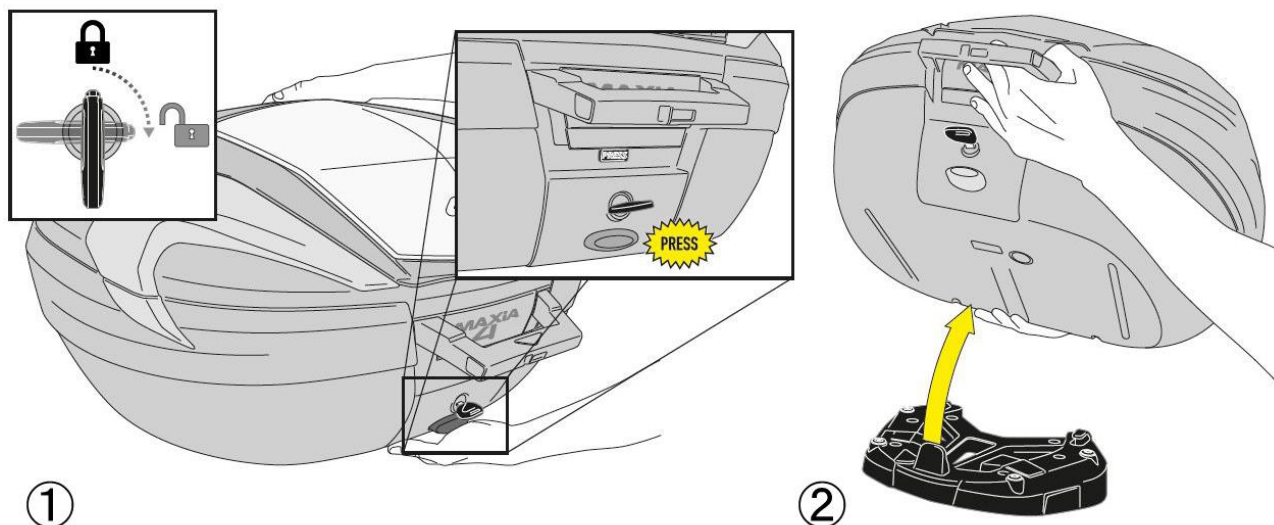


図 C1 (イラストは V56 ですが、他モデルも取り扱いと同じです。)

1. ①蓋を閉めた状態で、キーシリンダーに②セキュリティーキーを奥までしっかりと挿し込み、②キーを右に回し(3時位置よりも回し進めて)、ケースからハンドルを引き出します。(図 C1①参照)
2. 引き出したハンドルを適宜活用して①ケースを両手でしっかりと支え持ち、脱落させないように十分注意しながら、キーシリンダー下部にあるベースロック解除ボタンを内側に押し込み、ベースプレート後側のアタッチメントと①ケースの勘合を慎重に外します。(図 C1①参照)

※. この時、ベースロック解除ボタンやベースプレート勘合部に不用意に無理な力を加えないでください。変形や破損など予期せぬ不具合が発生する場合があります。

3. 引き続き①ケースを両手でしっかりと支え持ち、ベースプレート前側の凸部(2箇所)と①ケース前側の凹部(2箇所)の勘合を慎重に外し、脱落させないように十分注意しながらベースプレートから①ケースを完全に取り外します。(図 C1②参照)

V58 NET

V58 MAXIA5 にはインナーネットが付属しています。ケース内のコーナーの4つのフックに掛けることで荷物のケース内での振動を軽減します。

※V56 にネットは付属しておりません。



図 D1 (V58 のみ)

V58 BLOCKING SYSTEM

V58 MAXIA5 には簡易防犯のためブロッキングシステムが内蔵されています。ケース内部のロックを90度回転させることで、外側のベース解除ボタンを押してもベースプレートからケースが外れなくなり、盗難防止対策となります。

※ケースをベースプレートから外すには、ロック解除状態（オープン）にレバーを回して下さい。

ロック状態

カギを3時方向に回してもベースロック解除ボタンは押せません。



ロック解除状態（オープン）

キーシリンダーを3時方向に回すとベースロック解除ボタンを押すことができます。



図 E1 (V58 のみ)

その他

※、商品にガソリンやブレーキフルード、アセトン、シンナーなどの有機溶剤や化学物質を付着させないでください。小傷や曇り、素材表面の変色・変質などの原因となります。万が一付着した場合は直ちに水で洗い流してください。

※、商品を洗浄・ふき取りする際は、研磨剤入りの磨き剤や目が粗い織布は使用しないでください。小傷や曇り、素材表面の変質・変色などの原因となります。

※、ケース内容物の防水・破損・故障対策はお客様の自己責任で行なっていただく必要があります。また、内容物の傷付き・破損および内容物によって生じるケース内部の傷付き・損傷なども十分ご注意ください。これらの不具合や、素材の経年変化や使用損耗により発生した不具合や自己損害につきましては当社および GIMI 社では一切の責任を負いません。予めご了承ください。

■商品保証について

商品保証とは、通常のご使用において材料または製造上の不具合に起因する故障等が起きた場合、保証規定の範囲において無償修理または交換をお約束するものです。

1. 保証期間は使用回数に関わらず、ご購入日から1年間となります。
2. 保証を受ける場合には、お買い上げ日が証明できる書面(レシートなど)が必要となります。

※保証の対象は、新品かつ正規販売店でのご購入品に限ります。個人売買や中古品、インターネットオークションでの購入品は保証の対象外となります。

3. 下記のアドレス(またはQRコード)より、保証規定の詳細をご一読の上、ご理解・ご承諾ください。

デイトナ保証規定

<https://www.daytona.co.jp/warranty/index.php>

※保証を受けるご連絡を以って、保証規定にご同意いただいたものとみなします。



■保証修理の受付について

お買い上げ日が証明できる書面をご用意の上、購入店もしくは当社までご連絡ください。

インターネットお問合せ

<https://www.daytona.co.jp/contact/form.php>



株式会社 **デイトナ**
東証スタンダード上場

転載 本取扱説明書の内容の一部、
禁止 または全ての無断転載を禁止

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮4805

<https://www.daytona.co.jp>